

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 6 月 15 日 (2006.6.15)

【公表番号】特表 2005-524274 (P2005-524274A)

【公表日】平成 17 年 8 月 11 日 (2005.8.11)

【年通号数】公開・登録公報 2005-031

【出願番号】特願 2004-500407 (P2004-500407)

【国際特許分類】

H 0 4 B 1/18 (2006.01)

H 0 3 J 3/22 (2006.01)

【F I】

H 0 4 B 1/18 C

H 0 3 J 3/22

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 4 月 21 日 (2006.4.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

信号チャンネルにチューニングする方法であって、

(a) チューニングすべき信号チャンネルを選択するステップと、

(b) 前記電子的チューニング可能入力フィルタのパスバンド周波数バンド幅にチューニングされる前記信号チャンネルの期待された周波数を含ませる制御信号を前記信号チューナの電子的チューニング可能入力フィルタに印加することにより前記選択された信号チャンネルをチューニングするステップと、

(c) 前記チューニングされた信号チャンネルの性能測定をモニターするステップと、

(d) 前記電子的チューニング可能入力フィルタの前記パスバンド中は数バンド幅を調整する第 1 の制御信号を前記電子的チューニング可能入力フィルタに印加することにより前記選択された信号チャンネルを再チューニングするステップと

(e) 前記電子的チューニング可能入力フィルタの前記調整されたパスバンド周波数バンド幅が、前記調整されたパスバンド周波数バンド幅のおよその中心周波数で受信される前記選択された信号チャンネルの前記周波数を含むまで、ステップ (c) と (d) を繰り返すステップを有することを特徴とする方法。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の方法であって、前記第 1 の制御信号は、前記電子的チューニング可能入力フィルタの入力と出力に関してシャントされた第 1 の可変リアクタンスと前記入力と前記出力と直列の第 2 の可変リアクタンスに印加されることを特徴とする方法。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の方法であって、前記第 1 と第 2 の可変リアクタンスはそれぞれ第 1 と第 2 の可変容量ダイオードを有し、

前記第 1 の制御信号は、スケーリング信号の受信時に前記電子的チューニング可能入力フィルタの前記パスバンド周波数バンド幅を一定量増加させるように動作する電圧スケーリング回路を介して前記第 1 の可変容量ダイオードに適用される第 1 の制御電圧を有することを特徴とする方法。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の方法であって、

前記調整されたパスバンド周波数バンド幅の前記パスバンド周波数バンド幅を増加させるために前記電圧スケーリング回路にスケーリング信号を印加するステップをさらに有することを特徴とする方法。